令和３年度の事業報告書

NPO 法人木の子クラブ我孫子

１．事業の成果

令和３年度は指定共同生活援助サービス事業所（グループホー「ライムの木」）と指定生活介護事業所（生活介護施設「ひの木」）の２つの事業を行い、特段の問題もなく利用者数は表１に示すように推移した。また、各事業における男女比率、障害区分比率、年代比率は表２～表７の通りである。

【新型コロナウィルス対策について】

コロナ禍の中で、感染予防対策として空気清浄機を導入するとともに、換気の徹底、マスク着用の徹底、飛沫防止フイルター―の活用の徹底を図った。特に、換気においては、スタッフ、利用者全員で役割を分担し、日々の活動や業務の中に組み入れた。コロナワクチン接種については、申込み手続きの支援を通じて、全員がスピーディーに接種を受けることができた。さらに、行政からのマスク、手袋の定期的な配給や感染対策のための補助金を活用して事前対策を推進することができ、現在まで感染者を出すことなく推移した。

表１　令和３年度の利用者数

サービス名 施設名	項目　　月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
共同生活援助 ライムの木	利用者数（人）	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	106
	開所日数（日）	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	のべ人日（人・日）	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	224	248	3226
生活介護 ひの木	利用者数（人）	19	19	19	18	19	19	20	18	19	17	17	16	220
	登録者数（人）	19	19	19	18	19	19	20	19	19	18	18	17	224
	開所日数（日）	21	19	21	20	19	19	21	21	19	19	18	21	238
	のべ人日（人・日）	399	361	399	360	361	361	420	378	361	323	306	336	4365
	実のべ人日（人・日）	305	261	293	278	274	276	310	290	261	229	222	271	3270
	実利用者数（人／日）	14.5	13.7	14.0	13.9	14.4	14.5	14.8	13.8	13.7	12.1	12.3	12.9	13.7
	参加率（％）	76.4%	72.3%	73.4%	77.2%	75.9%	76.5%	73.8%	76.7%	72.3%	70.9%	72.5%	80.7%	74.9%

（登録者数とは施設利用契約数、利用者数とは月１回以上利用した人数）

表２～表４（令和３年度共同生活援助の利用者分布）

生活介護	男	9
	女	8
	合計	17

区分5	1
区分4	5
区分3	8
区分2	3
合計	17

60歳代	2
50歳代	7
40歳代	6
30歳代	2
合計	17

表 5～7（令和３年度生活介護の利用者分布）

共同生活援助	男	5
	女	3
	合計	8

区分5	0
区分4	2
区分3	4
区分2	2
合計	8

60歳代	1
50歳代	3
40歳代	3
30歳代	1
合計	8

２．事業の実施に関する事項

⑴ 特定非営利活動に係る事業

事業名	事　業　内　容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数
(1) GH 運営事業 定款第５条①,⑤	利用者の生活基盤として、ホーム、食事、生活、金銭管理を提供しサポートを行う。	R3/4/1~R4/3/31	市内 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ	8 名	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ 入居者　8 人
(2) 生活介護事業 定款第５条①,⑤	利用者の生活基盤の一つとして、日中の居場所を提供しサポートを行う。	R3/4/1~R4/3/31	市内 施設	6 名	生活介護 利用者 17 名
(3) 普及啓発事業 定款第５条②	ホームページを開設し活動内容を紹介する。また利用者が主宰する自助グループ「倶楽部バルーン」の会報発行を支援し活動内容を紹介する。	R3/4/1~R4/3/31	市内 施設	4 名	HP 開設 ﾊﾞﾙｰﾝ会報発行 3 回
(4) 地域交流事業 定款第５条③	地域との交流イベントを企画。	R3/4/1~R4/3/31	市内施設	3 名	自助グループ倶楽部バルーンの会員

⑵ その他の事業

定款第 5 条第 6 項に示す「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」については実施していない。

３．各事業の活動内容

⑴ GH 運営事業（グループホーム「ライムの木」の運営）

本年度は 8 人が在籍した。食事の提供、金銭管理支援、服薬管理支援、洗濯や掃除などの生活支援、服装の選択、余暇の利用方法の提案などの支援を行った。また、利用者の体調が不安定になった場合は医師との相談を勧め、悩み事の相談には個別面談を通じてきめ細かなサポートを行った。

「食事の提供」においては、5 人の世話人がシフトを組み、朝食（土日除く）、昼食（水曜のみ）、夕食（毎日）を、それぞれ朝 8:00、昼 12:00、夕 18:00 に手作りの食事を提供した。肉、魚、麺類など栄養バランスを考慮した多彩なメニューを用意することで、利用者に好評を得ている。

⑵ 生活介護事業（生活介護施設「ひの木」の運営）

本施設は２０名の定員に対して令和 4 年 3 月末日現在１７名が登録しており、通所する利用者は１日平均１３．７名、参加率は７４．９％であった。施設では朝礼、体操、昼食、昼寝、

各種学習プログラム、終礼などスケジュールに沿って一日を過ごしてもらった。詳細は次]のとおりである。

■ 主な学習プログラム（施設内）
ヨーガ、フリートーク、くもんを活用した脳トレ、ぬり絵、歯ブラシ教室、利用者自らが料理の腕を振るう木の子‘s クッキング、散歩、庭園づくり、施設内掃除

■ 主な学習プログラム（施設外）
お風呂支援、買い物支援

■ 金銭管理支援
日々の生活費の管理及び月間の収支の調整

■ 健康相談、受診同行
看護師による健康相談（毎週金曜日）、医療との連携による支援

■ その他
障害者の権利を守るための後見人申請業務

なお、新型コロナ対策としての体温測定、血圧測定、血中酸素飽和度の測定などについては、できる限り利用者みずからが行うことをルールとし、換気、ドアノブ等の消毒を一日のスケジュールに組み込み実施してもらった。毎月１回実施予定の懇親会、年１回の懇親旅行は、コロナ感染症予防のため中止を余儀なくされたことから、代わりに施設内での映画鑑賞、料理イベントなどを行った。

⑶ 普及啓発事業

■ ホームページを活用し、活動内容等を紹介した。
http://kinoko-abiko.life.coocan.jp/

■ 我孫子市社会福祉協議会のボタンティア市民活動に働きかけ、ボランテイアの受け入れ体制を整えた。本年度は、延べ 20 名／月を受け入れた。
ボランティアの活動内容は、主に調理補助である。

■ 施設利用者が中心メンバーとなる自助グループ「倶楽部バルーン」の活動を支援した。本年度に同会が行った会報「倶楽部バルーンだより」の発行は以下のとおりである。
「倶楽部バルーンだより（2021 年 4 月 23 号)」発行
「倶楽部バルーンだより（2021 年 8 月第 24 号)」発行
「倶楽部バルーンだより（2022 年 1 月第 25 号）発行

⑷ 地域交流事業

前述した倶楽部バルーンの会員を対象として生活介護施設「ひの木」を開放し、映画鑑賞や食事会等のイベント（名称：楽バル会）を開催した。

以上